

研究協力をお願い

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆さま方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

インプラント周囲炎のリスクファクターに関する調査検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2010年4月から2023年3月の間に昭和大学歯学部附属病院にてインプラント治療を受けた患者様

2. 研究目的・方法

<研究目的>

インプラント治療後に歯周病のようにインプラント周囲の骨が溶けることをインプラント周囲炎といいます。インプラント周囲炎はインプラントの寿命を短くするため、細心の注意が必要です。しかしながら、インプラント周囲炎の定義や発症率・リスクファクター（原因因子）が正確に把握されていないのが現状です。そのため、本研究では診療記録（カルテ）とレントゲンを用いてインプラント周囲炎のリスクファクターを導き出すことを目的としております。

<研究方法>

インプラント周囲炎のリスクファクターを導き出すために以下の項目を調査させていただきます。

- ① 全身状態（糖尿病や骨粗鬆症など）
- ② 生活習慣（喫煙歴・飲酒など）
- ③ お口の中の状態（歯周病の有無・残っている歯の本数など）
- ④ 骨の量や粘膜の厚みなど
- ⑤ インプラントの種類
- ⑥ インプラント埋入手術時の所見
- ⑦ インプラントのかぶせ物の状態

この研究は、すでに治療が終わっている方の診療記録（カルテ）やレントゲンを用いた調査のため、非常に安全かつ効果的な研究内容ですので安心してください。

研究期間

昭和大学歯科病院臨床試験審査委員会承認後、昭和大学歯科病院病院長による研究実施許可を得てから2025年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究では、全身状態・生活習慣・お口の中の状態・骨の量や粘膜の厚み・インプラントの種類・インプラント埋入手術時の所見・インプラントのかぶせ物の状態等の情報を診療記録（カルテ）から情報収集を行います。なおこちらの情報は患者様の名前が特定できない状態で保管するため、個人情報保護されます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学歯科病院（歯学部インプラント歯科学講座） 阿部 誉

住所：145-8515 東京都大田区北千束 2-1-1 電話番号：03-3787-1151

研究責任者：宗像 源博